

神 学 研 究 科

神学専攻

組織神学専攻

1. 神学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

前期課程には、修士に加えてカトリック教会の教授資格（STL）を与える組織神学コース、聖書研究の方法論を身につける聖書神学コース（M. Bib を授与）、宣教や司牧の実践について学ぶキリスト教教育コース（M. Div を授与）及び教会での奉仕の現場にたずさわる人々を養成する宣教実務者コースを設けるが、いずれも神学全般についての知識と理解を重視する。また研究者養成を主目的とする後期課程（条件を満たせばカトリック教会の学位 STD を授与）においては、研究のみでなく教育訓練を課程に組み込む。

カトリック司祭・修道者とカトリック学校での宗教科教員の養成、及び自己のキリスト教信仰を客観的・批判的に省察することにより教会に貢献できる人材養成を主目的とする。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

神学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 神学を基礎的・中心的研究対象とし、世界的視野の下で、他の思想・文化・宗教との対話の重要性にも注意することができる力
各コースごとには次の力を身につけた者とする
 - a. 組織神学コースでは、カトリック教会における司祭の養成をはじめ、体系的なカトリック神学を研究する能力
 - b. 聖書神学コースでは、聖書研究の方法論を研究する能力
 - c. キリスト教教育コースでは、基礎的な神学理論を踏まえながら、実践的な司牧のあり方について研究する能力
 - d. 宣教実務者コースでは、教会における奉仕の現場に携わる人材としての能力
2. 修士論文および課題研究報告書の作成において、論文構成が的確であり、論理展開に整合性・一貫性があり、説得力のある学術論文を作成する力

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。なお、必要要件を満たしている場合には、教皇庁立学位 STD (Sacrae Theologiae Doctor) の学位も授与することができます。

1. カトリック神学の基礎を踏まえながら、自らの研究テーマを独創的な観点から取り上げ、それを論理的・発展的に提示することができる力
2. 西洋において発展したカトリック神学の研究とともに、日本の思想・文化との対話を通して、独自の神学の樹立を目指すことができる力
3. 博士論文の作成において、論文構成が的確であり、論理展開に整合性・一貫性があり、先行研究を十分に踏まえて、独自性のある高度な学術論文を作成する力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

神学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. カトリック神学の伝統に基づいて、キリスト教に関する専門科目を、包括的・展開的に開設する。

2. 教義神学、教会史、キリスト教教育、キリスト教文学、聖書神学、聖書釈義、倫理神学、教会法、典礼神学、靈性神学、ギリシア語・ヒブル語などの古典文献学の科目を開設する。
3. 基礎的学習の専門性を深めるために、組織神学コース、聖書神学コース、キリスト教教育コース、宣教実務者コースの4コースを設置する。

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 研究指導と教育訓練からなる。研究指導では、指導教員の下で博士論文の作成、および学会等での研究発表を指導する。教育訓練は、指導教員、あるいは研究科委員長が適切だと認めた研究科教員の講義・演習科目における、講義実習や演習指導実習によって行う。
2. 組織神学、聖書学、実践神学、キリスト教文化の各分野の科目を開設する。

神学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
・選択科目	30		
↳自専攻科目			
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること ただし、早期修了者については、在学しない学期分は免除される
修士論文 または 課題研究報告書			必要な研究指導を受け、修士論文の審査および最終試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に、必ず「修士論文」を登録すること) 課題研究報告書は、宣教実務者コース早期修了者のみが対象

【研究指導スケジュール】

事項	提出期限	対象	備考
指導教員登録票提出期限(新入生のみ)	4月17日(金)	M1	研究科事務室へ提出。
コース登録票提出期限(新入生のみ)	4月17日(金)	M1	研究科事務室へ提出。
研究計画書提出期限(新入生のみ)	5月27日(水)	M1	指導教員承認後、研究科事務室へ提出。
宣教実務者コース(早期修了希望者) 「早期修了申請書」提出期限	9月18日(金)	M1	指導教員署名・捺印後、研究科事務室へ提出。
ローマ教皇庁学位 STB・STL 取得希望者申請書一式提出期限	原則年度初め	M1、M2	神学部長(教皇庁神学部長)と相談後、研究科事務室へ提出。
修士論文中間発表会	9月16日(水)	M2	秋学期授業開始前に実施予定。
修士論文履修登録	修了予定学期の履修登録期間中	M2	修了する年度の履修登録期間中に Loyola から登録する。
最終筆記試験(STL 資格試験) 試験問題配付	10月1日(木)	M2	
最終筆記試験日(STL 資格試験)	11月5日(木)	M2	
最終口述試験問題配付 STB・STL 資格試験(口述試験)問題配付	11月5日(木)	M2	
修士論文提出期限	1月12日(火)	M2	
最終口述試験日	2月初～中旬	M2	
製本用修士論文提出	3月上旬	M2	最終口述試験日から3週間以内に1部を研究科事務室へ提出する。 (図書館保管用)

※年度初めの新入生・在校生ガイダンスで配付する「神学部・神学研究科年次予定表」を参照すること。

※9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず研究科事務室でスケジュール等詳細について確認すること。履修登録の際は、事前に指導教員と研究科委員長に報告した上で、学事センターに登録を依頼すること。

【修士論文審査基準】

当該分野・領域における研究課題に自立的に取り組むことによって、カトリック教会と世界の課題解決のために相応しい方法論と論述を遂行する能力が認められること。なお、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
3. 研究方法：研究目的に対して、研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
5. 研究の位置づけ：
 - ① 学問的に論拠が明確であること。
 - ② 当該分野・領域において、学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
 - ③ 学問の発展に貢献するに足る内容の論文であること。
6. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - ① 序論、本論（章・節）、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - ② 文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - ③ 引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

【課題研究報告書審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された課題研究報告書を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討していること。
3. 研究方法：研究目的に対して、適切な研究計画・研究方法を採っていること。
4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
5. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - ① 序論、本論（章・節）、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - ② ②文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - ③ ③引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<教義学>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
<教会史>			
日本キリスト教史			2
教父学			2
東方キリスト教学			2
教理史Ⅰ			2
教理史Ⅱ			2
<組織神学：演習>			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<キリスト教教育：演習>			
キリスト教教育ゼミナールⅠ			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ			2
<人間学>			
キリスト教教育Ⅰ			2
キリスト教教育Ⅱ			2
キリスト教文学特講Ⅰ			2
キリスト教文学特講Ⅱ			2
宗教倫理思想Ⅰ			2
宗教倫理思想Ⅱ			2
平和学特講			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2
(他) 環境教育			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<聖書神学：演習>			
聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ			2
<聖書釈義>			
モーセ五書特講			2
詩編と知恵特講			2
預言者特講			2
パウロ特講			2
新約文献特講			2
<倫理神学>			
倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)			2
倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)			2
倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)			2
倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)			2
<教会法>			
教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
婚姻法・婚姻訴訟法			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
<典 礼>			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)			2
典礼神学特講Ⅱ(原典研究)			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
<靈 性>			
現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)			2
現代の霊性Ⅱ (キリスト教的霊性の現代的展開)			2
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
パストラル・ケア特講			2
<大学院分野横断科目>			
分野横断研究法：原理と技法			2

3. 履修上の注意

1. 「研究計画書」、「修士論文作成スケジュール(テーマの設定、中間発表、提出時の注意事項等)」、および研究指導を受けるにあたっての注意事項については、入学年度初めの新入生・在校生ガイダンスで配付する資料を参照すること。
2. 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」、「コース登録票」および「研究計画書」を研究科事務室に提出すること。
3. 基本的には、選択科目を30単位以上履修し、必要な「研究指導」を受け、修士論文(早期修了申請者は課題研究報告書)の審査および最終試験に合格すれば、修士(神学)の学位を取得することができる。
上記以外に、組織神学コース、キリスト教教育コース、聖書神学コース、宣教実務者コースのいずれかに属し、それぞれの要件を満たせば、上記の修士(神学)の学位に加えて、各コースの修了証を受領することができる。
コースに所属するかどうかに関わらず、履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため、あらかじめ研究科委員長の指導を受け、所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。
なお、「研究指導」を在学中毎学期受けること。必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。また、「修士論文」、「課題研究報告書」は修了予定学期に履修登録すること。
4. ローマ数字(I、II、…)が付与された科目:括弧()による副題の記載のあるものは、それぞれ単独で履修することができる。副題が記載されていないIおよびIIの科目は、両方の履修が前提として授業が組み立てられている。
科目名に「特講」とある科目は、それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。
5. 担当教員の許可を得れば、神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し、これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。また、指導教員と相談の上、論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。博士後期課程開講科目については、博士後期課程の頁を参照のこと。
6. 「分野横断研究法:原理と技法」(神学研究科神学専攻開講 2026年度秋学期 金曜日5時限 2単位科目)について
分野横断型の科目として開設された。定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、履修要覧[ガイド・資料編]を参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価にはP(合格)・X(不合格)を使用する。

【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには、神学部の組織神学副専攻または神学系の修了、もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。そのうえで、規定の教義神学(16単位以上)と選択科目(14単位以上[〈教会史・組織神学〉4単位と〈聖書神学〉4単位と実践神学〈倫理神学・教会法・典礼・霊性〉6単位を含む])、および「研究指導」を履修し、最終試験と論文審査に合格すれば、修士(神学)の学位が取得できる。

全世界のカトリック教会において共通な、教会法上の学位STB(*Sacrae Theologiae Baccalaureatus*)、およびSTL(*Sacrae Theologiae Licentiat*)の学位取得を目指す者は、教皇庁神学部長に相談すること。教皇庁からの通達により、「婚姻法・婚姻訴訟法」(2単位)の取得が必修となったので、STBおよびSTLの学位取得希望者は、必ず履修すること。

選択必修(30単位)		
教義神学(16単位)	キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)(2) 教会論特講(2) 入信の秘跡(2) 基礎神学I/II(4) 恩恵論(2)	聖餐の秘跡(2) ゆるしと叙階の秘跡(2) 結婚の秘跡(2) 現代カトリック教義学I/II(4) マリア論(2)
教会史・組織神学(4単位)	教父学(2) エキュメニズムI/II(4) キリスト教ラテン語原典研究(2)	日本キリスト教史(2) 東方キリスト教史(2) 教理史I/II(4)
聖書神学(4単位)	〈聖書神学:演習〉・〈聖書釈義〉より4単位	
実践神学(6単位)	〈倫理神学〉・〈教会法〉・〈典礼〉・〈霊性〉より6単位	

【キリスト教教育コース】

〈25 年次生まで〉

キリスト教教育コースに所属する者は、必修科目「キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ」を8単位、選択必修科目を10単位以上、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div (Master of Divinity) の学位が取得できる。自由選択科目は、神学専攻の他のコースのものを履修してもよい。

〈26 年次生以降〉

キリスト教教育コースに所属する者は、必修科目「キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ」を8単位、選択必修科目を10単位以上、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学専攻の他のコースのものを履修してもよい。

演習 必修(8 単位)	キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ(8)	
人間学 選択必修(10 単位)	キリスト教教育Ⅰ(2) キリスト教教育Ⅱ(2) キリスト教文学特講Ⅰ(2) キリスト教文学特講Ⅱ(2) 宗教倫理思想Ⅰ(2) 宗教倫理思想Ⅱ(2)	平和学特講(2) キリスト教音楽美学研究Ⅰ(2) キリスト教音楽美学研究Ⅱ(2)
自由選択(12 単位)		

【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、必修科目「聖書神学研究ゼミナールⅠ～Ⅳ」（重複履修不可）を8単位、聖書釈義選択必修科目を10単位（2回まで同一科目の重複履修を認める）、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib (Master of Biblical Studies) の学位が取得できる。自由選択科目は、神学専攻の他のコースのものを履修してもよい。

演習 必修(8 単位) ※重複履修は認めない	聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史)(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)(2) 聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ(2)
聖書釈義 選択必修(10 単位) ※2回まで同一科目の重複履修を認める	モーセ五書特講(2) 詩編と知恵特講(2) 預言者特講(2) パウロ特講(2) 新約文献特講(2)
自由選択(12 単位)	

【宣教実務者コース】

宣教実務者コースの出願資格および修了要件は、以下のとおりである。

【出願資格】以下の条項のいずれかに該当すること。

- ① カトリック教会における教会法上の学位（STB、STL、STD）を有する者。
- ② キリスト教会において、司祭・牧師として正式に選任された聖職者。
- ③ 上智大学神学部「宣教実務系」を修了した者。

【修了要件】

- ① 本コースに属する学生は、指導教員のもとで各人のニーズに応じた履修計画を立て、博士前期課程の開講科目から30単位以上を履修する。
- ② 在学期間は、通常2年以上であるが、優れた業績を上げた者は、1年間の在学で足りるものとする（早期修了）。
- ③ その場合は指導教員のもとで、修士論文の代わりに「課題研究報告書」を作成し提出する。
- ④ 本コースに属する学生が、上智大学神学研究科博士後期課程に進学を希望する場合は、修了要件②は適用されず、在学期間は2年以上とし、さらに修士論文を完成させなければならない。

【早期修了の要件】

早期修了の認定を受けることができる者は、本専攻会議が成績優秀（GPA3.0以上）と判定する者で、かつ次に掲げる要件をすべて満たしていなければならない。

- ① 本人が早期修了を希望していること。
- ② 30単位以上を修得済みであること。
- ③ 修士論文に代える「課題研究報告書」についての審査に合格していること。

【早期修了の申請】

早期修了を希望する者は、指導教員の合意を得た上で、本専攻が別に定める早期修了申請書を、修了年度の春学期終了日（詳細は別途指示する）までに、専攻主任に提出しなければならない。

【早期修了申請の取消】

早期修了の申請が許可された者が、特別な理由により申請を取り消したい場合には、指導教員の合意を得た上で、本専攻が別に定める早期修了申請取消願を専攻主任に提出し、専攻主任の承認を受けなければならない。

4. 開講科目一覧表 [神学専攻_博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7011	春	キリスト論特講 (キリスト論と三位一体論)	THE501-91j00	2	増田 健		隔年開講
MTTH7071	春	基礎神学 I	THE507-91j00	2	川中 仁		隔年開講
MTTH7121	春	エキュメニズム II	THE512-91j00	2	増田 健		隔年開講 前期課程死生学専攻「教会一致運動研究 II」と合併科目
MTTH7241	春	倫理神学特講 I (良心と自然法)	THE520-91j00	2	竹内 修一		隔年開講
MTTH7291	春	平和学特講	THE524-91j00	2	小山 英之		隔年開講
MTTH7311	春	教会法 II (教会生活における法規と運用)	THE526-91j00	2	*菅原 裕二		隔年開講
MTTH7361	春	典礼神学特講 I (実践基礎論)	THE530-91j00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講
MTTH7441	春	パストラル・ケア特講	THE537-91j00	2	(他) 武田 なほみ		隔年開講 前期課程死生学専攻「生涯発達論研究 II」 後期課程死生学専攻「生涯発達論特殊研究 III」と合併科目
MTTH7522	春	キリスト教文学特講 II	THE543-91j00	2	片山 はるひ		隔年開講
MTTH7582	春	詩編と知恵特講	THE547-91j00	2	大西 崇生		隔年開講
MTTH7633	春	新約文献特講	THE550-91j00	2	廣石 望		
MTTH7741	春	現代司牧の諸問題 I (現代のカテキズム)	THE556-91j00	2	*阿部 仲麻呂		隔年開講
MTTH7751	春	キリスト教音楽美学研究 I	THE557-91j00	2	森 裕子		隔年開講
MTTH7753	春	典礼と霊性 I	THE559-91j00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講
MTTH7756	春	宣教学特講 II	THE562-91j00	2	原 敬子		隔年開講
MGGE7290	春	環境教育	ENV611-94j00	2	(他) 吉川 まみ		(他) 地球環境学研究所地球環境学専攻開講
MTTH7051	2Q 集中	ゆるしと叙階の秘跡	THE505-91j00	2	*具 正謨		隔年開講、集中講義
MTTH7061	秋	結婚の秘跡	THE506-91j00	2	*菅原 裕二		隔年開講
MTTH7091	秋	恩恵論	THE509-91j00	2	増田 健		隔年開講
MTTH7181	秋	教理史 II	THE516-91j00	2	角田 佑一		隔年開講
MTTH7211	秋	現代カトリック教義学 I	THE517-91j00	2	川中 仁		隔年開講
MTTH7231	秋	キリスト教ラテン語原典研究	THE519-91o00	2	*芝元 航平		隔年開講
MTTH7271	秋	倫理神学特講 IV (徳と人格)	THE523-91j00	2	竹内 修一		隔年開講
MTTH7341	秋	典礼神学 I	THE528-91j00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講
MTTH7472	秋	宗教倫理思想 II	THE540-91j00	2	HAIDAR Juan		隔年開講
MTTH7482	秋	キリスト教教育ゼミナール I	THE541-91j00	2	原 敬子		隔年開講
MTTH7532	秋	キリスト教教育ゼミナール II	THE544-91j00	2	(他) 武田 なほみ		隔年開講
MTTH7642	秋	宗教倫理思想 I	THE551-91j00	2	竹内 修一		隔年開講
MTTH7702	秋	聖書神学研究ゼミナール I (古代イスラエル史)	THE552-91j00	2	*長谷川 修一		隔年開講
MTTH7733	秋	聖書神学研究ゼミナール IV	THE555-91j00	2	廣石 望		
MTTH7757	秋	教父学	THE563-91j00	2	角田 佑一		隔年開講

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7780	秋	分野横断研究法：原理と技法	THE565-91j00	2	コーディネータ HAIDAR Juan (他)池田 真		輪講 [30名] 博士前期課程または修士課程1年次生 対象
MTTH7381	4Q 集中	現代の靈性Ⅰ（祈りの現代的意義）	THE532-91j00	2	*具 正護		隔年開講、集中講義
MTTH9010	秋	修士論文	THE699-91j00	0	神学専攻各指導教員		M2対象
MTTH9000	秋	課題研究報告書	THE689-91j00	0	神学専攻各指導教員		宣教実務者コース早期修了者対象
MTTH7021	休講	教会論特講	THE502-91j00	2			隔年開講
MTTH7081	休講	基礎神学Ⅱ	THE508-91j00	2			隔年開講
MTTH7031	休講	入信の秘跡	THE503-91j00	2			隔年開講
MTTH7041	休講	聖餐の秘跡	THE504-91j00	2			隔年開講
MTTH7101	休講	マリア論	THE510-91j00	2			隔年開講
MTTH7111	休講	エキュメニズムⅠ	THE511-91j00	2			隔年開講 前期課程死生学専攻「教会一致運動研究Ⅰ」と合併科目
MTTH7131	休講	日本キリスト教史	THE513-91j00	2			隔年開講
MTTH7161	休講	東方キリスト教学	THE514-91j00	2			隔年開講
MTTH7171	休講	教理史Ⅰ	THE515-91j00	2			隔年開講
MTTH7221	休講	現代カトリック教義学Ⅱ	THE518-91j00	2			隔年開講
MTTH7251	休講	倫理神学特講Ⅱ（いのちと性）	THE521-91j00	2			隔年開講
MTTH7261	休講	倫理神学特講Ⅲ（聖書と靈性）	THE522-91j00	2			隔年開講
MTTH7301	休講	教会法Ⅰ（秘跡法の入門と実践）	THE525-91j00	2			隔年開講
MTTH7321	休講	ゆるしの秘跡の司牧	THE527-91j00	2			隔年開講
MTTH7351	休講	典礼神学Ⅱ	THE529-91j00	2			隔年開講
MTTH7371	休講	典礼神学特講Ⅱ（原典研究）	THE531-91j00	2			隔年開講
MTTH7391	休講	現代の靈性Ⅱ（キリスト教的靈性の現代的展開）	THE533-91j00	2			隔年開講
MTTH7421	休講	現代司牧の諸問題Ⅱ（日本におけるカトリック教会司牧とその使命）	THE535-91j00	2			隔年開講
MTTH7432	休講	キリスト教文学特講Ⅰ	THE536-91j00	2			隔年開講
MTTH7452	休講	キリスト教教育Ⅰ	THE538-91j00	2			隔年開講、前期課程死生学専攻「生涯発達論研究Ⅰ」後期課程死生学専攻「生涯発達論特殊研究Ⅱ」と合併科目
MTTH7453	休講	キリスト教教育Ⅱ	THE539-91j00	2			隔年開講
MTTH7502	休講	キリスト教教育ゼミナールⅣ	THE542-91j00	2			隔年開講
MTTH7542	休講	キリスト教教育ゼミナールⅢ	THE545-91j00	2			隔年開講
MTTH7562	休講	モーセ五書特講	THE546-91j00	2			隔年開講
MTTH7602	休講	預言者特講	THE548-91j00	2			隔年開講
MTTH7622	休講	パウロ特講	THE549-91j00	2			隔年開講
MTTH7712	休講	聖書神学研究ゼミナールⅡ（旧約聖書原典批判）	THE553-91j00	2			隔年開講
MTTH7722	休講	聖書神学研究ゼミナールⅢ	THE554-91j00	2			隔年開講
MTTH7752	休講	キリスト教音楽美学研究Ⅱ	THE558-91j00	2			隔年開講
MTTH7754	休講	典礼と靈性Ⅱ	THE560-91j00	2			隔年開講
MTTH7755	休講	宣教学特講Ⅰ	THE561-91j00	2			隔年開講
MTTH7771	休講	婚姻法・婚姻訴訟法	THE534-91j00	2			隔年開講

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
THE599-91j00	HAIDAR Juan	
	原 敬子	
	廣石 望	
	片山 はるひ	
	川中 仁	
	小山 英之	
	森 裕子	
	竹内 修一	
	FIRMANSYAH Antonius	
	角田 佑一	

組織神学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	6		
授業科目			
・選択必修科目	6		
自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

事 項	提出期限	対 象	備 考
指導教員登録票提出期限（新入生のみ）	4月17日(金)	D1	研究科事務室へ提出。
研究計画書提出期限（新入生のみ）	5月27日(水)	D1	指導教員承認後、研究科事務室へ提出。
博士論文執筆資格試験必要書類の配付		D1	新入生ガイダンスで以下の書類を配布 ①「博士論文執筆資格試験規程」 ②コンプリヘンシヴ試問用書籍候補リスト
博士論文執筆資格試験受験申込	【20～23年次生】 入学後、1年を経過した時点	D2	入学後1年経過した時点から受験を申し込むことが可能。 申込みの際、プロポーザル3部を研究科委員長に提出する。
	【24年次生以降】 入学後、1年を経過した時点から、論文提出予定約1年前まで	D2	入学後1年経過した時点から、論文提出を目標としている時期の約1年前までに受験を申し込むことが可能。 試験約1ヶ月前までに、プロポーザル3部を研究科委員長に提出する。 ※何らかの事情によって上記の条件を満たせない場合は、事前に必ず研究科委員長に相談すること。
博士論文執筆資格試験日程の通知・公表		D2	【20～23年次生】 プロポーザル提出後、1ヶ月前後の適当な時期に試験日程を決定し、日程のみ学生に通知し、同日程を掲示する。
		D2	【24年次生以降】 受験申込み後、研究科委員長は適当な時期に試験日程を決定し、日程のみ学生に通知し、同日程を掲示する。
博士論文執筆資格試験担当教員の通知・公表		D2	試験1週間前に、研究科委員長は試験担当教員を学生へ通知し、掲示する。

博士論文執筆資格試験実施		D2	プロポーザル提出後、1ヶ月前後に実施。2度目試験が不合格の場合、退学となる。
博士論文執筆資格試験最終合否判定・通知		D2	3名の試験担当教員により合否判定結果を研究科委員会に諮り、最終の合否判定を審議し、研究科委員長は直ちに判定結果を学生へ通知する。
学位論文テーマの登録保存と公示		D2	研究科委員長は、合格した学生の学位論文テーマが登録保存されたことを公示する。
自己申告書(学会研究発表・論文掲載・教育訓練実施報告)提出期限	在籍最終年度 春学期修了： 6月17日(水) 秋学期修了： 12月16日(水)	D2	所定用紙に記載のうえ、研究科事務室へ提出。
博士論文の申請・公開試験の実施		D2	学事センターへ論文審査願を提出。学位授与審議は、9月または3月の大学院委員会で行うため、論文提出時期、公開試験日程等については、指導教員および研究科委員長の指示に従って進めて行くこと。

※年度初めの新生・在校生ガイダンスで配付する「神学部・神学研究科年次予定表」を参照すること。

※博士論文執筆資格試験については、新生ガイダンスで配付する「博士論文執筆資格試験規程」を参照すること。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として、当該分野・領域における独創的研究をとおして、カトリックの教会と世界に貢献できる能力が認められること。なお、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
3. 研究方法：研究目的に対して、研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
5. 研究の位置づけ：
 - ① 学問的に論拠が明確であること。
 - ② 当該分野・領域において、学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
 - ③ 学問の発展に貢献するに足る内容の論文であること。
6. 独創性：全体を通して、学術的独創性が認められること。
7. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - ① 序論、本論(章・節)、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - ② 文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - ③ 引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<組織神学研究>			
組織神学研究Ⅰ		2	
組織神学研究Ⅱ		2	
組織神学研究Ⅲ		2	
組織神学研究Ⅳ		2	
<聖書学研究>			
旧約聖書研究Ⅰ		2	
旧約聖書研究Ⅱ		2	
新約聖書研究Ⅰ		2	
新約聖書研究Ⅱ		2	
<実践神学研究>			
倫理神学研究Ⅰ		2	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
倫理神学研究Ⅱ		2	
実践神学研究Ⅰ		2	
実践神学研究Ⅱ		2	
霊性神学研究Ⅰ		2	
霊性神学研究Ⅱ		2	
<キリスト教文化研究>			
教会史研究Ⅰ		2	
教会史研究Ⅱ		2	
キリスト教思想研究Ⅰ		2	
キリスト教思想研究Ⅱ		2	
キリスト教人間学研究Ⅰ		2	
キリスト教人間学研究Ⅱ		2	

3. 履修上の注意

- 「研究計画書」、「博士論文作成スケジュール(テーマの設定、提出時の注意事項等)」、および研究指導を受けるにあたっての注意事項については、入学年度初めの新入生ガイダンスで配付する資料を参照すること。
- 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」および「研究計画書」を研究科事務室に提出すること。
- 修了要件は、(a)研究指導および(b)教育訓練からなる。また、博士論文の執筆条件として、(c)博士論文執筆資格試験(コンプリヘンシヴ)の合格が前提となる。
 - 研究指導は、上記開講科目および前期課程開講科目の受講、博士論文作成の指導を受けることによって行われる。さらに、学会での研究発表(学会誌等論文掲載を含む)が義務づけられる。なお、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
 - 教育訓練は、研究科教員の講義・演習科目において授業指導を行うことによって充当される。その際、同訓練は、研究指導者ないし研究科委員長が適当と認める方法によって行われる。
 - 博士論文執筆資格試験は、適当な時期に公開口述試験の形で行われる。同試験は、①組織神学全般に関する総合的な試問、および②博士論文のテーマに関わる研究分野の専門的知識を問う試問からなる。そのために、①には「選択書籍表」、②には「論文の計画素案(proposal)」の事前提出が求められる。本試験に合格した時点で、学位(博士)論文のテーマがリザーブされ、博士論文の執筆が承認される。
 なお、上記の①もしくは②の公開口述試験に二度不合格となった場合は、上智大学大学院学則第29条(3)によって中途退学となる。
 - 上記(a)~(c)の修了要件に加え、博士後期課程開講科目の中から、6単位以上の単位修得が必須となる。
- 博士後期課程修了、満期退学等には、上記の修了要件を満たす必要がある。

4. 開講科目一覧表 [組織神学専攻_博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
DTTH7230	春	組織神学研究Ⅲ	THE803-92j00	2	川中 仁		
DTTH7270	春	新約聖書研究Ⅰ	THE807-92j00	2	廣石 望		
DTTH7290	春	倫理神学研究Ⅰ	THE809-92j00	2	竹内 修一		
DTTH7310	春	実践神学研究Ⅰ	THE811-92j00	2	原 敬子		
DTTH7330	春	霊性神学研究Ⅰ	THE813-92j00	2	森 裕子		
DTTH7370	春	キリスト教思想研究Ⅰ	THE817-92j00	2	HAIDAR Juan		
DTTH7390	春	キリスト教人間学研究Ⅰ	THE819-92j00	2	片山 はるひ		
DTTH7300	秋	倫理神学研究Ⅱ	THE810-92j00	2	竹内 修一		
DTTH7380	秋	キリスト教思想研究Ⅱ	THE818-92j00	2	HAIDAR Juan		
DTTH7240	秋	組織神学研究Ⅳ	THE804-92j00	2	川中 仁		
DTTH7280	秋	新約聖書研究Ⅱ	THE808-92j00	2	廣石 望		
DTTH7320	秋	実践神学研究Ⅱ	THE812-92j00	2	原 敬子		
DTTH7340	秋	霊性神学研究Ⅱ	THE814-92j00	2	森 裕子		
DTTH7400	秋	キリスト教人間学研究Ⅱ	THE820-92j00	2	片山 はるひ		
DTTH7250	休講	旧約聖書研究Ⅰ	THE805-92j00	2			
DTTH7260	休講	旧約聖書研究Ⅱ	THE806-92j00	2			
DTTH7210	休講	組織神学研究Ⅰ	THE801-92j00	2			
DTTH7220	休講	組織神学研究Ⅱ	THE802-92j00	2			
DTTH7350	休講	教会史研究Ⅰ	THE815-92j00	2			
DTTH7360	休講	教会史研究Ⅱ	THE816-92j00	2			

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
THE899-92j00	H Aidar Juan	
	原 敬子	
	廣石 望	
	片山 はるひ	
	川中 仁	
	小山 英之	
	森 裕子	
	竹内 修一	
	FIRMANSYAH Antonius	
	角田 佑一	